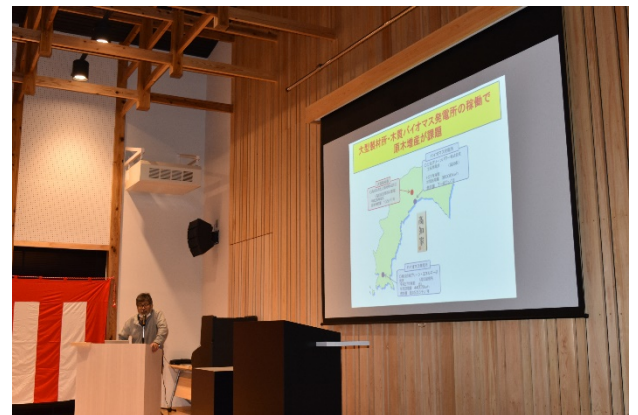


2018. 3. 29 森林立地学会現地研究会

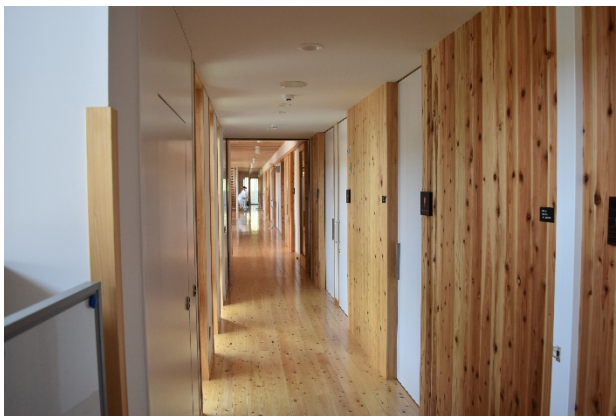
『高知県における森林・林業と地球科学研究の最先端』

2018年度の現地研究会は高知県で開催しました。午前中は高知県森林技術総合センターを訪問し、森林率日本一を誇る高知県の林業について学びました。午後は海洋コア研究の世界的拠点である高知海洋コアセンターを見学し、最先端のコア採取技術や分析機器について学ぶとともに、コア研究と森林立地研究との関わりについても検討しました。

当日、朝8時に高知駅に集合した36名の参加者は、バスに乗車して高知県森林総合センターに向かいました。バス車内ではセンターの紹介ビデオを鑑賞するとともに、高知県森林技術センターの藤本氏にセンターの概要を説明していただきました。センターに到着後は、林業大学の多目的室において、藤本氏と高知県森づくり推進課林業大学校準備室の遠山氏に講演をしていただきました。



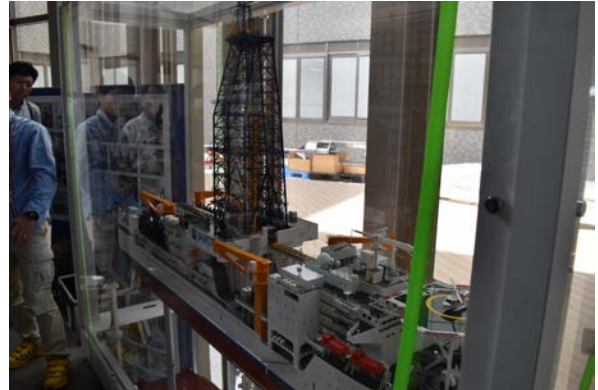
その後、参加者は2班に分かれ、CLTを活用した林業大学校校舎およびコンテナ苗育成施設の見学と、土壌断面観察を行いました。土壌断面の観察の際は森林総研四国支所の稲垣氏に解説をお願いしました。それぞれ、実際に目で見て学ぶことが多い内容で、参加者からも活発に質問が出ていました。



昼食時には、林業大学校の多目的室を引き続きお借りして、森林立地学会の総会が開かれました。総会では各審議事項の討議の他、森林総研・長倉氏らの論文が論文賞に選ばれたことが発表されました。受賞者の長倉氏に三浦理事から賞状が渡されました。



昼食後はバスに再び乗車して高知海洋コアセンターに向かいました。バス車内では森林立地学会員の志知氏より、コアを用いた古森林研究について話題提供していただきました。コアセンターに到着後、徳山英一センター長よりご講演をいただくとともに、岩井氏、松崎氏よりセンター概要と共同利用についてのお話を伺いました。その後、2班に分かれて所内見学ツアーをおこないました。コア保管のための巨大冷蔵庫など見どころ満載のツアーとなり、参加者からの質問も絶えず、大変盛況でした。



以上、一日という短い時間ではありましたが、参加者の皆様のおかげで、充実した現地研究会にすることができました。現地でのコーディネートに尽力いただきました高知県森林技術センターの藤本さん、海洋コアセンターの岩崎さんをはじめ、ご講演・ご説明いただきました方々に感謝申し上げます。

(文責 事業幹事 山下尚之)

